

地域に開かれたダムをめざして

# 尾原ダム本体工事に着手

## 尾原ダム起工式

尾原ダム建設事業は、島根県百年の大計といわれる斐伊川・神戸川治水事業三点セット（志津見・尾原ダム建設、斐伊川放水路建設、大橋川改修）の一つで、平成22年度末の完成をめざしています。

この尾原ダム本体工事は今年3月に発注され、地元関係者などへの説明会を経ていよいよ着工の運びとなり、6月27日に木次町平田の工事予定地付近で起工式が挙行されました。

起工式には、地元関係者をはじめ、地元選出国会議員や国土交通省、島根県、斐伊川流域市町関係者などが出席し、はじめに国土交通省斐伊川・神戸川総合開発工事事務所の八尋 裕所長が「地元関係者のご協力により、いよいよダム本体工事着手の運びとなりました。完成に向け、周辺環境への影響に十分配慮しながら施工していきます」と式辞を述べました。

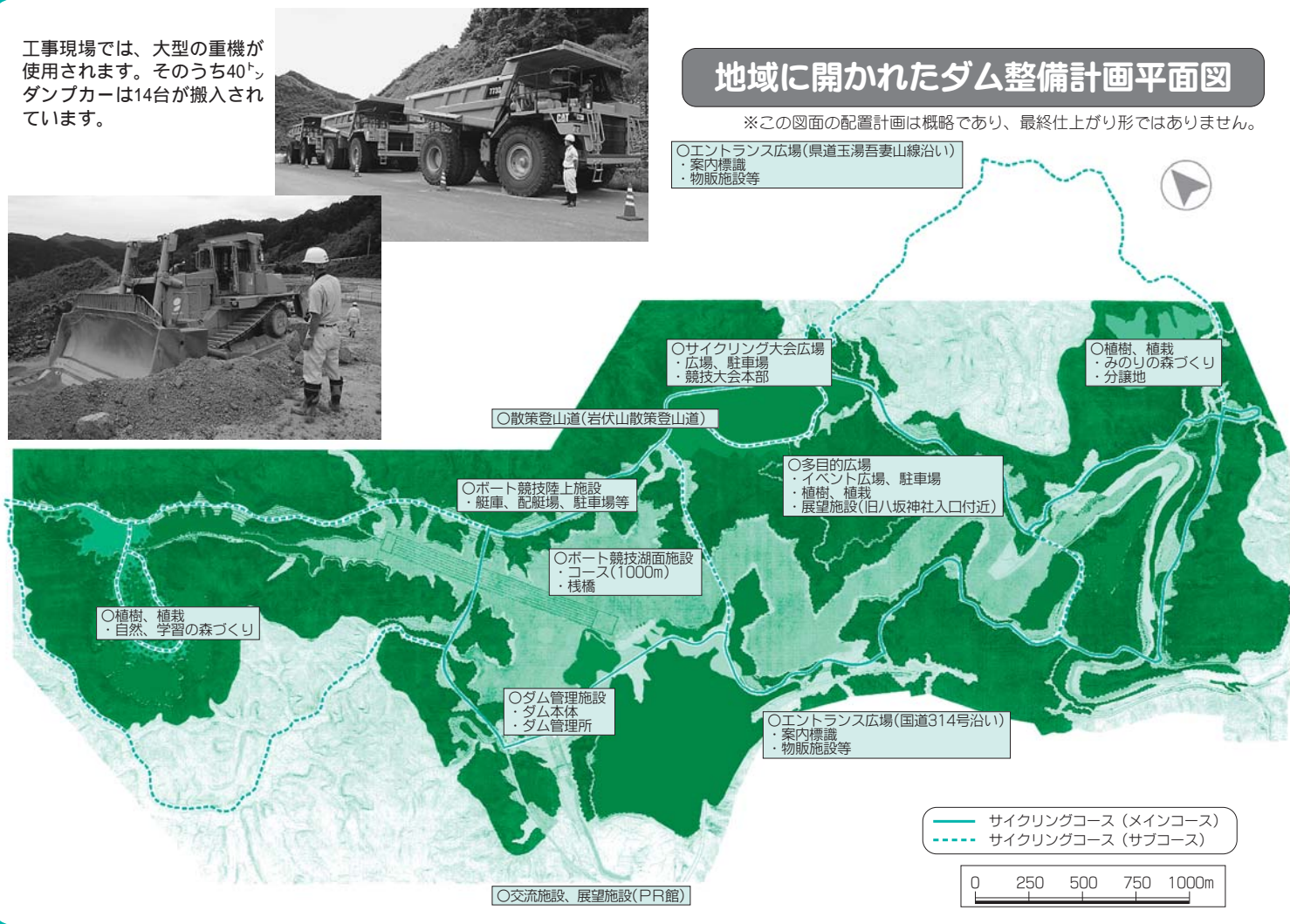
来賓のあいさつに続き、出席者らが、鍬入れと鋤入れを行い、工事の安全を祈願しました。

工事は、昨年11月の斐伊川転流により流れを仮排水路へ迂回させた場所の掘削作業から始まります。また引き続き並行して、市道の付け替えや工事用道路の整備も行われます。

市では、地域みなさんや関係機関と連携をとりながら、これらの工事ははじめダム湖周辺の整備への協力をしていきます。

## 地域に開かれたダム整備計画平面図

※この図面の配置計画は概略であり、最終仕上がり形ではありません。



工事現場では、大型の重機が使用されます。そのうち40トンダンプカーは14台が搬入されています。



## 尾原ダム建設事業の見通し

尾原ダムは、平成18年3月にダム本体工事を発注し、平成22年度に完成、平成23年度からはダムの管理を行う予定としています。

平成18年4月現在

主な工事	尾原ダム建設事業						
	平成17年度 (1年前)	平成18年度 (今年度)	平成19年度 (1年後)	平成20年度 (2年後)	平成21年度 (3年後)	平成22年度 (4年前)	平成23年度 (5年後)
転流工	仮排水トンネル	上下流締切					
ダム本体工事	本体掘削	準備工・本体掘削					
	堤体工		コンクリート打設・基礎処理				
	放流設工		洪水放流設備・利水放流設備の製作、据付工事				
	管理設備工			管理所・観測、警報設備など			
	試験湛水						完成

## 地域に開かれたダム

尾原ダムは平成14年に「地域に開かれたダム」の指定を受け、平成17年3月には、これに基づき「地域に開かれたダム整備計画」が認定されました。

この「地域に開かれたダム整備計画」は、ダム地域への開放を一層進め、ダムが地域にとってより密着した施設となるよう関係機関が協力し、地域の声を聞き、地域の創意工夫を活かして整備を行い、ダムを通して地域活性化を図ろうとするものです。

整備計画に盛り込まれたポート・サイクリング競技施設や自然環境を活かした植樹祭・菜の花まつりなど、国、県、地元自治体、地域住民の協働による取り組みを通して培ってきた人との絆を大切に、個性的で魅力あるダムをめざします。